

平成 29 年度 第 3 回環境計画推進パートナーシップ会議 議事録（発言要旨）

- 開催日時: 平成 30 年 2 月 7 日(水) 13:30～15:30
- 開催場所: 西宮市役所 本庁 6 階 681 会議室
- 出席委員: 小川会長、清水副会長、樋口委員、西明委員、江川委員、北村委員、那須委員、柳生委員、野島委員、野村委員、田邊委員、遠藤委員、花田委員、大谷委員、山崎委員
- オブザーバー: 須山オブザーバー、加藤オブザーバー
- 事務局: 須藤環境総括室長
(環境・エネルギー推進課)山中課長、吉田係長、八木係長、藤原副主査、松井主事
(環境学習都市推進課)藤原課長、田中係長
(施設管理課)山村課長
(施設整備課)永田課長
(美化企画課)森川課長、加羅係長、吉岡係長
(株)地域計画建築研究所(アルパック)駒

1. 第 3 次環境基本計画の素案について

- ・ P9 にアンケート調査の結果を記載しているが、各アンケートの実施日の記載をした方がよい。(委員等)
→修正する。(事務局)
- ・ P10 の関連計画に関して、地域福祉計画、生涯学習推進計画などが、現計画では部門計画に記載されているが、本素案には記載されていない。省略した理由はあるのか。(委員等)
→環境に関わる計画を抜粋して記載している。(事務局)
→その他の関連計画も、これからのことを考えて、記載した方がよいのではないか。(委員等)
→検討したい。(事務局)
- ・ 廃棄物の「にこやか収集」という取り組みは、地域福祉計画の課題にも深く関わっている。地域の中で、取りこぼしのない社会づくりを実現するためにも、関連計画で位置づけることができる計画は入れた方がよい。(委員等)
→検討したい。(事務局)
- ・ P7～8 の年表の「国・県等の施策の展開」について、例えば、1993 年度の「気候変動枠組み条約発効」と同じ年に、「生物多様性条約」が発効されている。気候変動に関連する施策が、重視して選ばれているように感じるが、生物多様性に関連する施策は入れなくてよいのか。(委員等)
→生物多様性も記載するか検討する。(事務局)
- ・ P7～8 の「施策の展開」について、計画などをあまり目にしない方にとっては、文言だけでは、何に関連するのかわからないのではないか。(委員等)
- ・ P3 の「環境目標と行動目標の図」について、各目標の文字も色で分けた方が、統一感が出て見やすいのではないか。(委員等)
→検討したい。(事務局)
- ・ P1 の図について、分野の立場がバラバラになっているので、木のコンセプトを整理する。例えば、「自

然災害に備える」をコンセプトにするのであれば、「西宮市の地形や地質、過去の災害を教訓として学ぶ」、「どのように住んでいくか考える」の様に、環境と防災の関わりを、過去と現在と未来の脈絡で記載した方がよいのではないか。(委員等)

- ・ P8 の環境学習都市宣言の説明文に、「文教住宅都市の考え方を発展させ」とあるが、環境学習都市宣言に、「公正で平和な社会を目指します」とあるのは、平和非核都市宣言の要素も含まれているので、記載すべきである。(委員等)

- ・ P7 の石油コンビナート建設反対運動の説明文に、「西宮浜」とあるが、現在「西宮浜」という名前の浜があるので、混乱を招くのではないか。(委員等)

→修正する。(事務局)

- ・ P19～20 の国際交流・貢献について、現在、西宮市で行っている施策、活動を記載してもよいのではないか。(委員等)

→検討する。(事務局)

- ・ P15 では、「まち」や「社会」が使われているが、何を基準に使い分けているのか整理すべきである。(委員等)

→検討する。(事務局)

- ・ P19 の「渡り鳥と同じく私たち人間も世界中の資源に」のところ、渡り鳥は、あちらこちらを転々と移動するので、「同じく」との表現に違和感を感じる。(委員等)

→修正する。(事務局)

- ・ コラム「渡り鳥の移動」について、シギ・チドリ類だけでなく、コアジサシやユリカモメなどの他種の鳥も含めて、「全ての季節に渡り鳥が来ている」ことを記載してはどうか。(委員等)

- ・ 重要なことは、甲子園浜や夙川等の滞在場所がなくなった場合、渡り鳥にどのような影響があるのか。餌場が無くなると、「渡り」そのものが出来なくなること記載して、餌場の重要性を市民にわかりやすく伝えるように工夫してはどうか。(委員等)

→検討する。(事務局)

- ・ P19 の「(1) 世界の国々との環境を通じた協力や交流の推進」について、4行目「交流の促進」とあるが、多くの留学生が学びに来ている背景もあるので、「留学生との交流」の文言を追記してはどうか。(委員等)

→市内の9カ所の大学で、留学生を受け入れている大学、留学生が行っている活動等の情報は、市としても持つべきである。(委員等)

- ・ 全般的に文章のトーンが統一されていない。文章が平板になったり、固くなったりして読み辛い部分があった。(委員等)

- ・ 市民、事業所、行政を対象に、研修の体系をどうするか記載した方がよいのではないか。対象が明確に記載されている分、他の主体は研修をしていないように見える。(委員等)

- ・ P25 のコラムの賞味期限の意味について、もっと簡潔に表記できないのか。(委員等)

→検討する。(事務局)

- ・ P28 で「生態系サービスを育む」となっているのだが、これは部会で指摘されて、修正されていなかったか。(委員等)

→現在どのように表現するか検討している。(事務局)

- ・ 環境省の環境目標「低炭素」、「自然共生」、「資源循環」でも、3つの課題は、個別課題ではなく、相互に関係しあっているとされている。個別課題の相互関係の構成は記載されていないので、市民にもわかるように4つの環境目標の関係を記載すべきである。(委員等)
- ・ 資源循環の「(2) ごみの安定的、効率的な処理の実施～廃棄物の適正処理～」については、分別の部分が丁寧に記載されていない。啓発の実施の部分で、分別を強調するのはどうだろうか。(委員等)
- ・ 現在は、行政の専門知識のある人がわかる内容となっているので、市民の視点で見ると、計画と市民の行動の繋がりがわかりにくい。(委員等)

→検討する。(事務局)

- ・ 各部会の素案について、話がまとまるのはいつ頃になるのか。(委員等)
 - 廃棄物減量推進部会は、来年度上半期で素案を作成して、パブリックコメントに出したい。(事務局)
 - 生物多様性推進部会は、P26の「目標等」を検討中であり、来年度の上半期には方向性を提示したい。(事務局)
 - エネルギー推進部会は、第3回目の部会は、来年度に行う。また、各委員に素案に対する意見を頂き来年度の上半期には素案を作成したい。(事務局)
 - 上半期8月には素案をまとめて、審議会等の他の機関との兼ね合いで、今回の出た意見をまとめてほしい。また、各会議の意見の反映は、どの時期に反映されるのか、明確にわかるようにまとめて欲しい。(委員等)

2. 各部会の報告について

- ・ 意見の時間が取れなかったが、後日ご意見があれば事務局まで頂きたい。(事務局)

3. 連絡事項

- ・ 今後の予定は、来年度の上半期にかけて、素案作成のスケジュールを調整する。(事務局)
- ・ 今回の時間内に頂けなかった意見は、2月28日(水)までに事務局に伝えて頂きたい。(事務局)